

**哲学カフェ@しぞ〜か**  
**第2回 日本はガラパゴス化しているのか**  
**実施報告書**

2013.11.2 松尾和満作成

1. 日時：2013年10月26日（土） 14:00～16:00
2. 会場：B-nest 静岡市産学交流センター 大会議室（葵区御幸町3-21 ペガサート6階）
3. 参加者数：26名（一般参加者18名，世話人8名）

#### 4. 概要

今回は「日本はガラパゴス化しているのか」をテーマに開催した。はじめに、世話人共同代表の竹之内裕文（静岡大学農学研究科）より哲学カフェ@しぞ〜かの創設趣意と討議の進め方についての説明がなされた。次に、同じく世話人共同代表の堂圃俊彦（同人文社会科学部）よりテーマについての解題がなされた。その後、参加者は2つのグループに分かれ、適宜コーヒーなどの飲み物を楽しみながら、それぞれテーマをめぐっての討議に参加した。なお、グループごとのファシリテーターは竹之内と堂圃が、グラファー（ホワイトボードへの記録）は國弘彩と村山友梨が務めた。

#### 5. 討議で交わされた意見（一部を紹介）

<グループ1>（ファシリテーター：竹之内裕文）

- ・ グローバルな基準が当てはめられるようになると、マイノリティが主張しにくくなるという危険性がないか。
- ・ 日本はもともと昔からガラパゴス化していたのではないか。
- ・ 大学生は授業で誰も意見を言わない。同世代に気を使うという協調性か。
- ・ 主張することによって批判され傷つくことを恐れているのではないか。
- ・ 単身赴任でタイに行ったことがあるが、現地の人と日本人の感覚は異なる。
- ・ 日本人が議論しないのは、同質化を求めているからではないか。
- ・ 乗り遅れてはいけない、と言われるが、何に乗り遅れてはいけないのか分からない。
- ・ 今の20代や30代は共通の価値観が崩壊している。話し合いすらできない。
- ・ むしろ、今の若い世代はいろんな多様性を体験できてうらやましい。
- ・ グローバル化＝米国と同一化、ではない。身近な国を知ることから始めてはどうか。
- ・ グローバル化以前に、日本人同士で議論ができるようにならなければ。

<グループ2>（ファシリテーター：堂圃俊彦）

- ・ 何でもグローバル化でよいわけではない。
- ・ 日本は外からのものを受け入れるのに消極的な傾向である。どうするか。
- ・ 若者が内向きなのは、日本だけか。他の国は独自のガラパゴス化をしていないのか。
- ・ “ガラパゴス化”というマイナスイメージの言葉に日本人がこだわりすぎているのではないか。自己肯定感の足りなさが問題ではないか。
- ・ 世界で共通の認識から日本がずれている。
- ・ 日本が十分豊かなので、外国に対するモチベーションが低いのかもかもしれない。

- ・ 大多数に擦り寄るのではなく、“オリジナリティ”として胸を張って戦えばいいのではないか。
- ・ 独自性とガラパゴス化は違うのではないか。
- ・ ガラパゴス化を超越するには、日本独自の文明文化を持つこと、創ることが大事。

## 6. 会場の様子 (写真)



写真1 カフェの飲み物



写真2 会場の全景



写真3 グループ1の討議



写真4 グループ2の討議

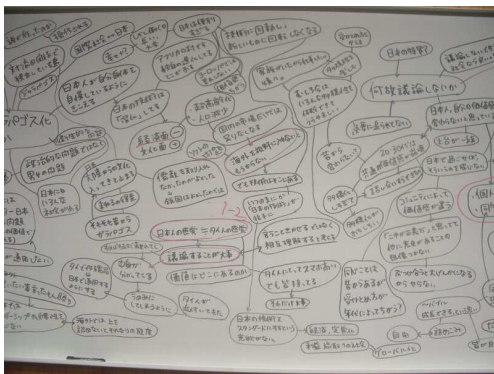


写真5 グループ1のグラフィック

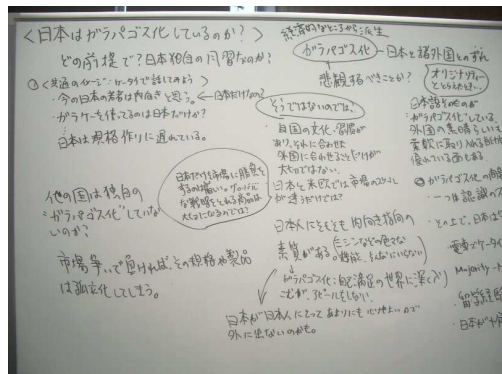


写真6 グループ1のグラフィック

(以上)